

第2回協議会 資料-2

秋田市総合交通戦略 推進協議会

平成21年9月2日

第1回協議会の概要について



目 次

1 . 秋田市の交通特性.....	2
2 . T D Mに関する施策や取り組み.....	8
3 . T D M施策の方向性.....	9

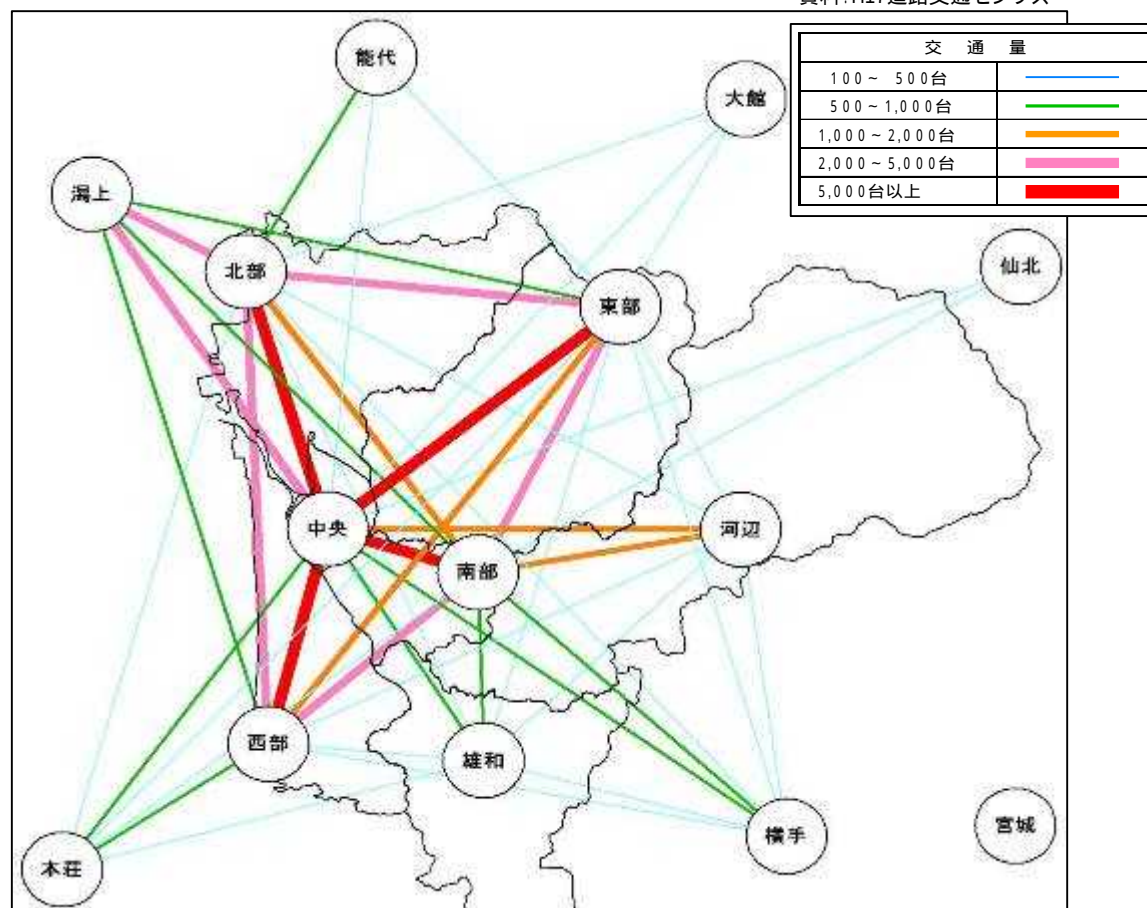
1. 秋田市の交通特性

1-1. 朝ピーク時の交通流動

・朝ピーク時の自動車交通流動をみると、南部地域をはじめ、各方面から都心部に交通が集中している状況

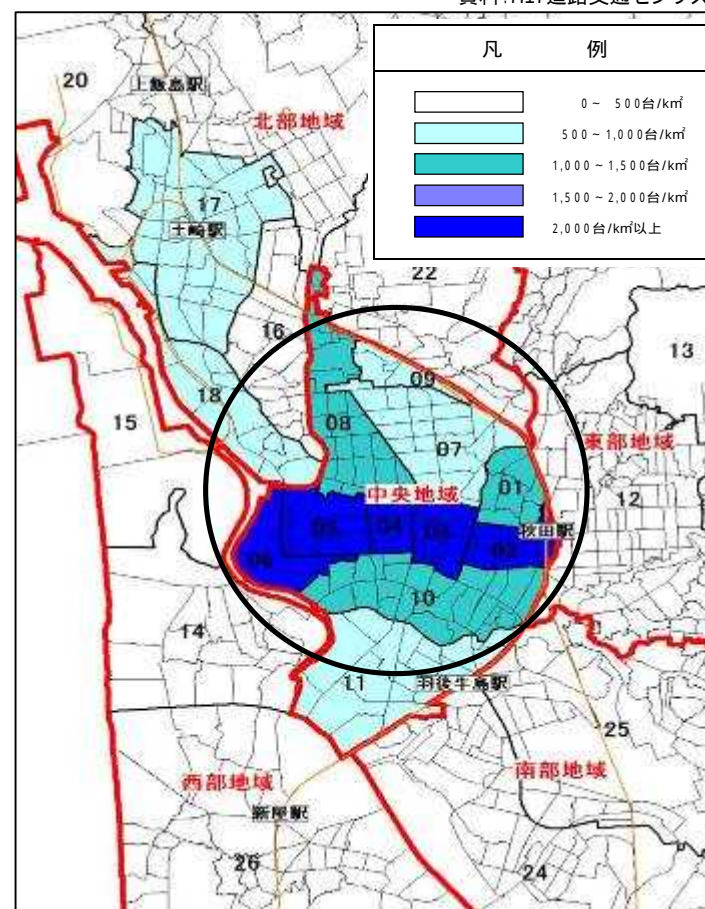
▼午前7～8時台における自動車交通流動

資料：H17道路交通センサス



▼午前7～8時台における自動車集中密度(通勤目的)

資料：H17道路交通センサス



1. 秋田市の交通特性

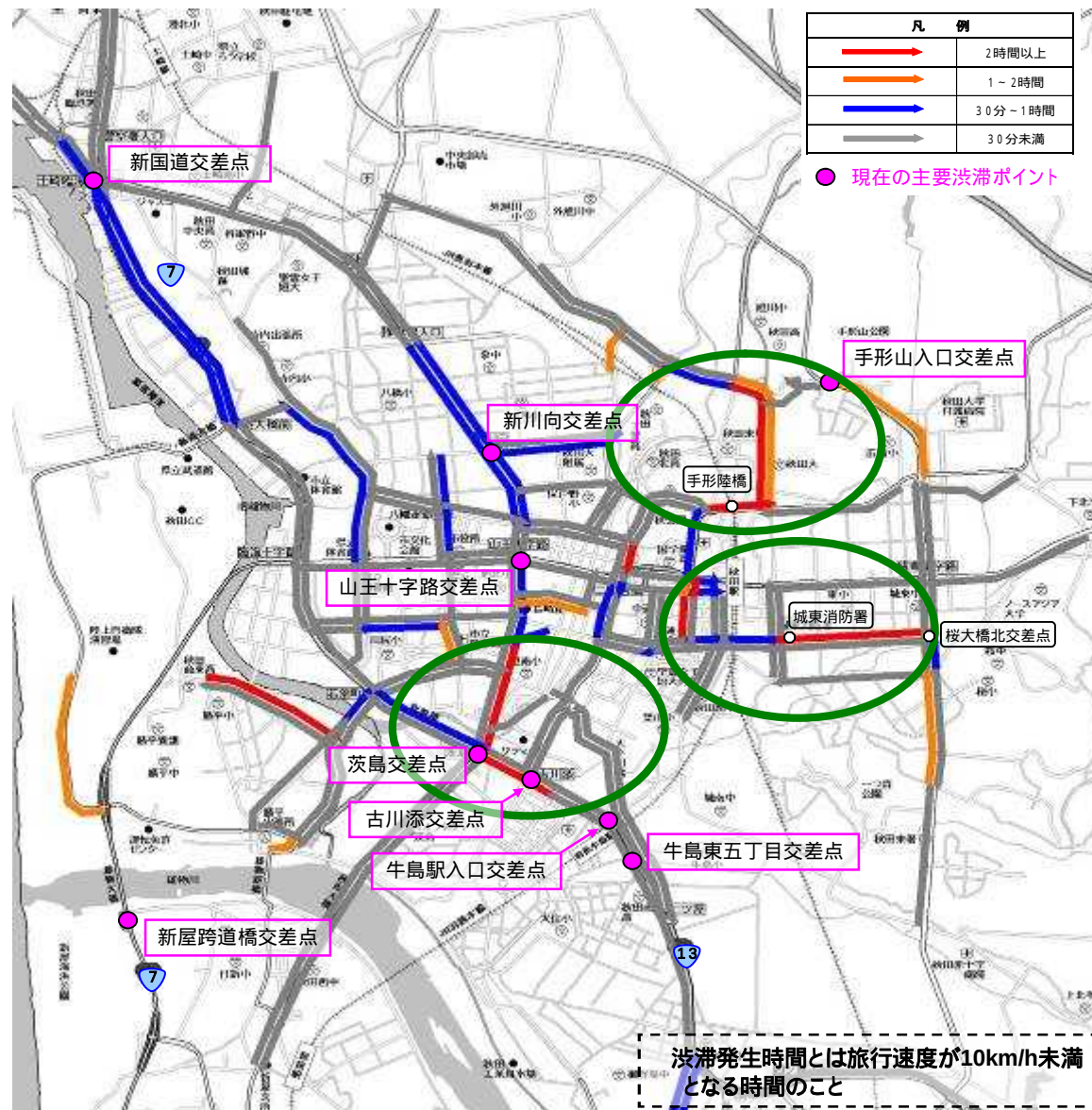
1-2. 秋田市内の渋滞状況

▼道路区間別平均渋滞発生時間(平成19年10月)
資料: VICSデータ

【主要路線の混雑時間】

- ・国道13号茨島交差点・古川添交差点付近では、2時間/日以上渋滞が発生
- ・秋田駅北側の秋田大学付近の主要地方道秋田八郎潟線や手形陸橋付近で2時間/日以上渋滞が発生
- ・秋田駅東側では、城東消防署前から桜大橋北交差点間で2時間/日以上渋滞が発生

▼国道13号牛島駅入口交差点付近の渋滞状況(能代方面を望む)



1. 秋田市の交通特性

1-3. 通勤経路アンケート調査結果

【調査概要】

- ・目的 : 通勤経路や通勤手段の把握
- ・実施主体 : 秋田市及び国土交通省
- ・対象者 : 秋田市中心部の従業者
- ・回収数 : 約4,100票
- ・実施期日 : 平成20年12月～平成21年1月

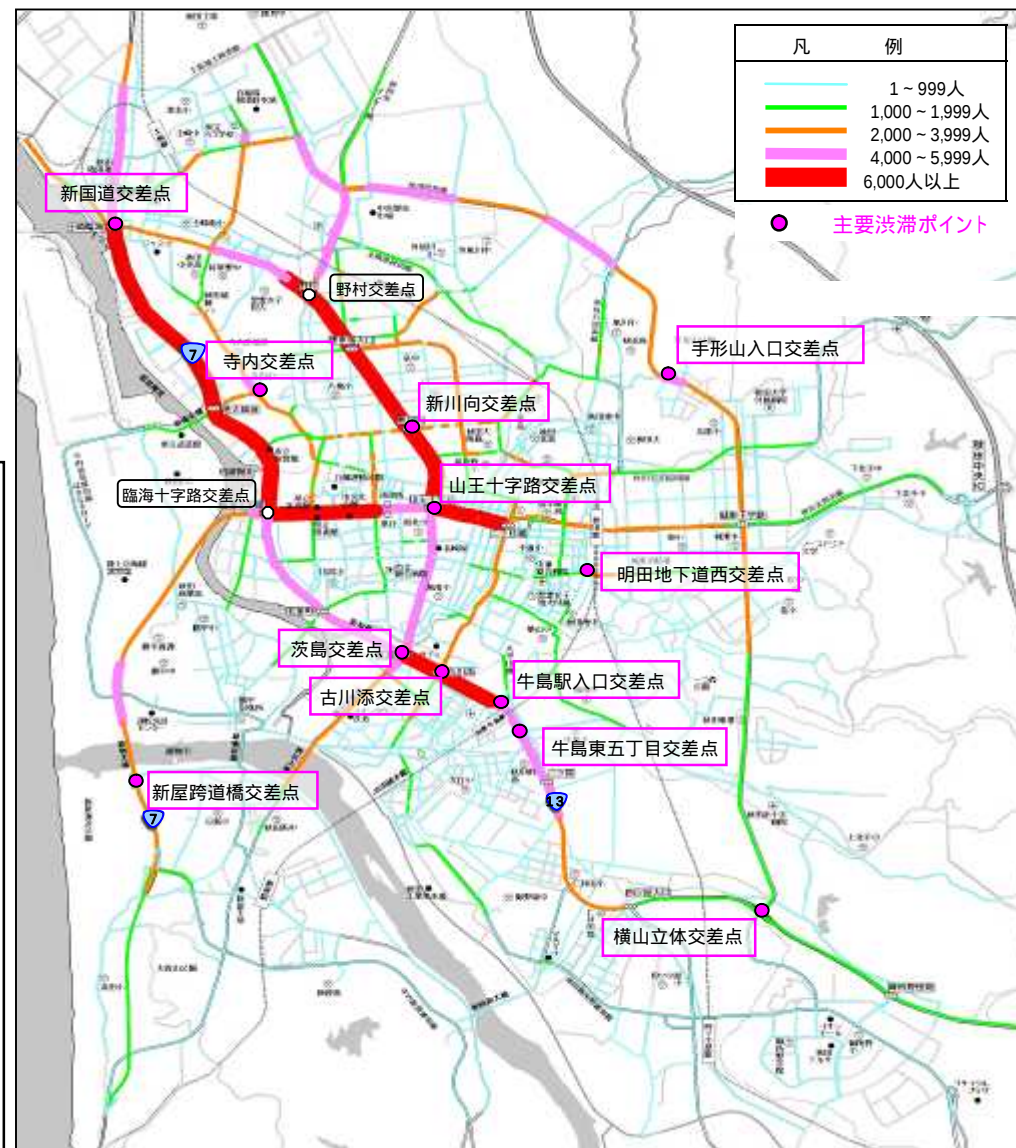
【主な通勤経路と通過人数】

- 6,000人以上が通過する経路
 国道13号 茨島～牛島駅入口交差点間
 国道7号 臨海十字路～新国道交差点間
 主要地方道秋田天王線
 野村～山王十字路交差点間 等

- ・単路部では、国道7号臨海十字路交差点北側が約9,000人で最大となっている

- ・交差点では、主要地方道秋田天王線の山王十字路交差点が10,700人で最大となっている

▼ 主要な通勤経路及び通過人数



アンケートで回収した票数は、秋田市中心部の全従業者数約10万人のうち、約4,100票であることから、従業者全体の総交通量を推計するため、個々の回答を平均で約25倍 ($100,000 \div 4,100$) に拡大している

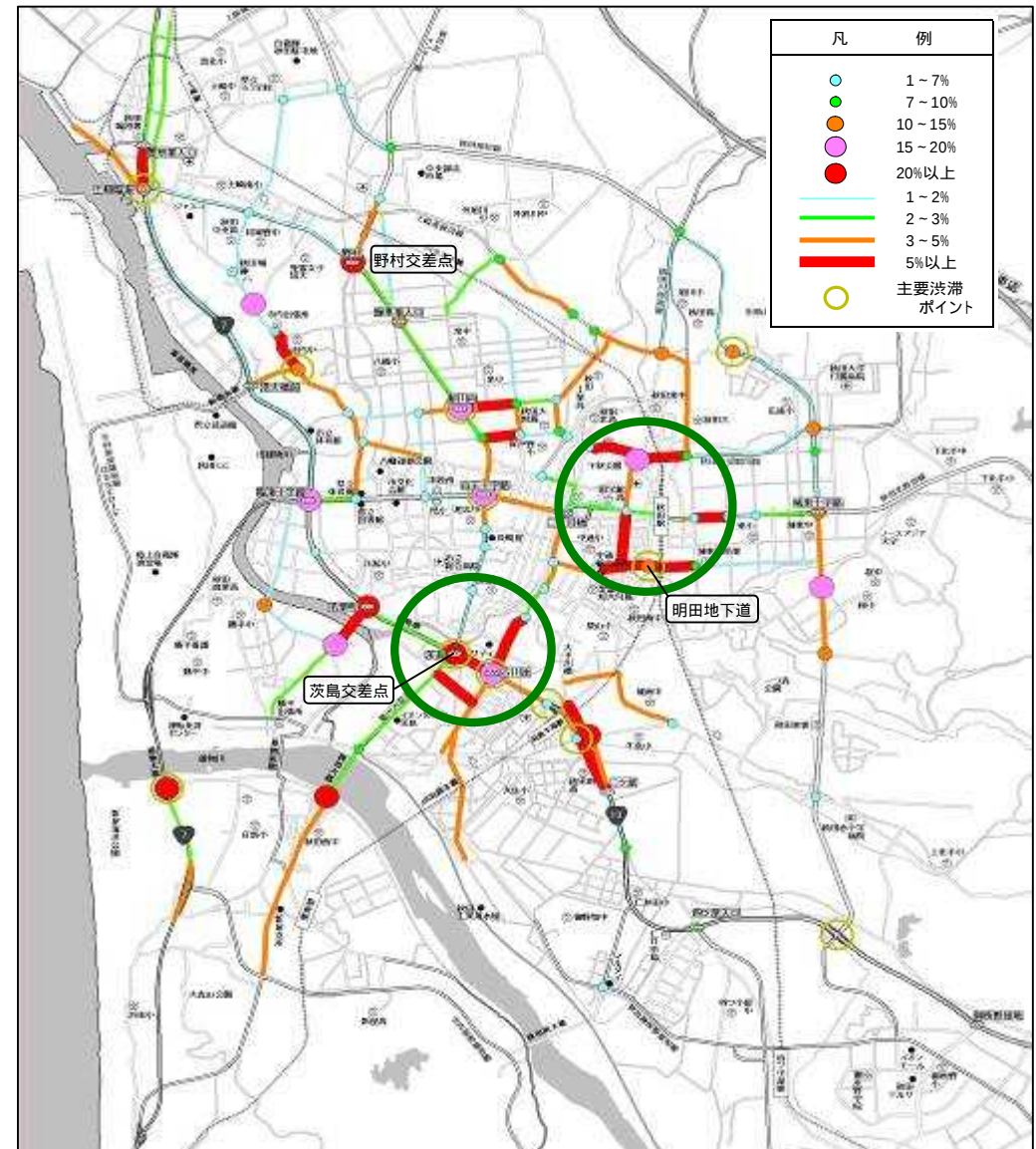
1. 秋田市の交通特性

1-3. 通勤経路アンケート調査結果

【 通勤経路上での混雑箇所指摘比率】

- ・国道13号茨島交差点付近で混雑が目立つ
- ・茨島交差点の指摘比率は約28%と高い
- ・JR線を秋田駅付近で横断する箇所では混雑が目立つ
- ・明田地下道の指摘比率が約11%と高い
- ・交差点部の最大指摘比率箇所は、野村交差点の約29%
- ・単路部の最大指摘比率箇所は、明田地下道の約11%

▼通勤経路上での混雑箇所指摘比率



1. 秋田市の交通特性

1-3. 通勤経路アンケート調査結果

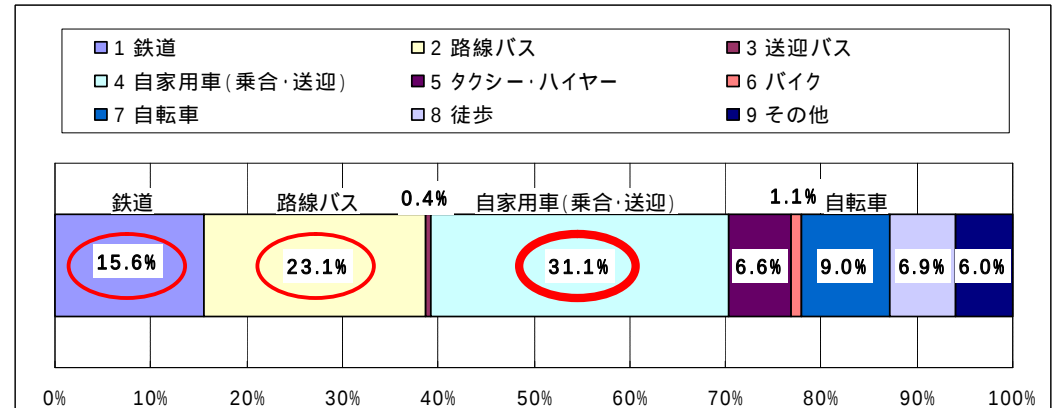
【 自動車の代替交通手段】

・自動車を運転して通勤している人の代替交通手段としては、自家用車の乗合・送迎が31.1%、次いで、路線バスが23.1%、鉄道が15.6%である

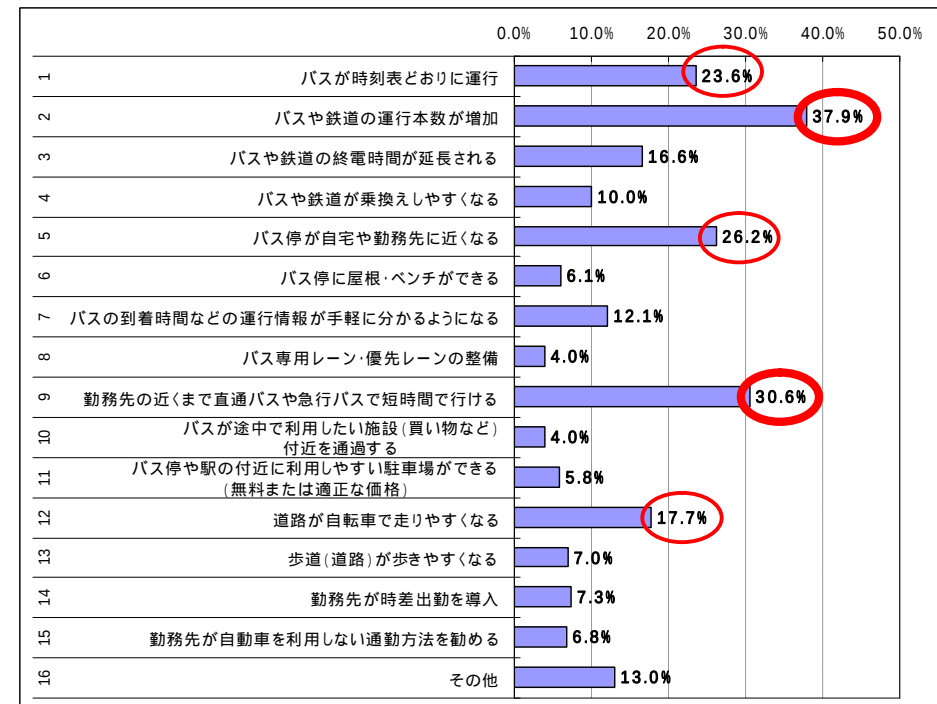
【 通勤方法の変更条件】

・通勤方法の変更条件は、「バスや鉄道の本数増加」が37.9%と最も多く、次いで、「直通バス、急行バス」が30.6%を占める

▼秋田市中央地域への自動車通勤者における代替交通手段



▼秋田市中央地域への自動車通勤者における通勤方法変更条件



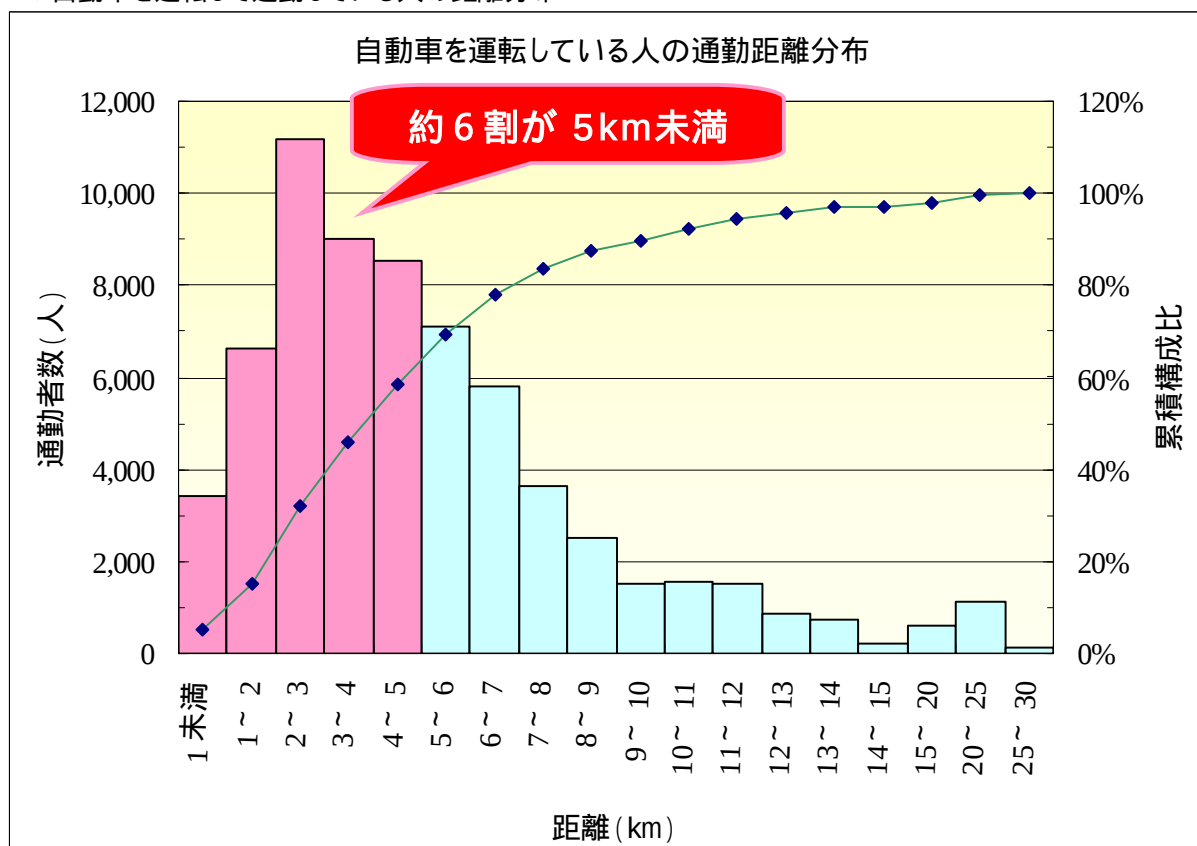
1. 秋田市の交通特性

1-3. 通勤経路アンケート調査結果

【 自動車通勤者の距離分布】

- ・自動車を運転して通勤している人の通勤距離は5km未満が約60%を占め、比較的短距離通勤となっており、約90%は10km未満の通勤距離である。

▼ 自動車を運転して通勤している人の距離分布



2. TDMに関する施策や取り組み

エコ通勤ウィークの設定

- ・秋田市では、平成20年11月から、毎月第3週を「エコ通勤ウィーク」に指定
- ・マイカーから公共交通、自転車や徒歩への切り替えを促進

エコ交通の日(美の国あきたエコ交通キャンペーンで実施)

- ・主催:トラック協会、商工会議所連合会、秋田県、秋田市等
- ・平成15年から、毎月第4金曜日に実施
- ・マイカーから公共交通、自転車、徒歩への切り替えを促進

▼エコ交通キャンペーン



▼自転車通勤応援イベントの状況



自転車通勤応援イベント

- ・主催: NPO(バイシクル・エコジョー・ジャパン)、秋田市
- ・毎月第3木曜日に、市内3箇所では自転車通勤者へお菓子や飲み物を提供
- ・現在1日あたり3箇所では80人程度参加

企業向けレンタサイクル(社会実験)

- ・秋田市では、放置自転車の活用による環境改善対策として、平成20年11月～21年6月にレンタサイクルの社会実験を実施
- ・秋田銀行等9社が参加し、延べ538人が利用

自転車通行環境整備モデル地区の指定

- ・平成20年1月に、国土交通省と警察庁が合同で、秋田駅周辺地区をモデル地区に指定
- ・自転車・歩行車道をラインで区切る等、自転車走行空間を確保するほか、走行マナー向上のための啓発活動を実施



◀自転車通行環境整備モデル地区

時差出勤

- ・主催: 秋田県
- ・平成18年7月より実施



◀時差出勤パンフレット

「自転車利用環境のあり方を考える懇談会」の開催

- ・秋田市では、今後の自転車利用環境のあり方について検討する懇談会を平成20年10月に設置
- ・平成21年1月に「提言書」を市長に提出

1. TDM社会実験（案）

1) 実験施策の検討

第1回協議会資料をもとに補足

【秋田市の現状】

自動車通勤者の代替手段・乗換条件

- ・代替交通手段は、路線バス 23%、鉄道 16%、自転車 9% など意向が多様（上記3手段計48%）
- ・自動車（送迎・乗合 31%）が最も多い
 - 他の交通手段への転換が困難な人も多い
- ・バスの運行本数増加 38% や直通バス 31% の意向が多い

現在のTDM施策等の取り組み状況

- ・ノーマイカーデー（エコ交通の日）、ノーマイカーウィーク、
- ・時差出勤（秋田県庁）
- ・自転車施策（秋田市役所等）

秋田市の渋滞状況

- ・朝8:00～8:30に通勤交通が集中（民間＋公務員）
（民間7:20～8:00、公務員8:10～8:30）
- ・国道13号、国道7号に渋滞ポイントが多い。
- ・特に国道13号古川添交差点（茨島）付近に渋滞が集中

秋田市の地域・交通特性

- ・近距離帯でもマイカー通勤が多い（約6割が5km未満）
- ・平坦な地形が多く自転車の活用を図りやすい

過去の社会実験

- ・H7時差出勤の実施
 - 勤務時間を変更した実験だったため継続していない
- ・H11パーク＆ライド（JR等の利用）
 - 施策を限定したため参加者が少なかった（72人）
 - 駐車場の整備も課題

【秋田市で有効なTDM施策（案）】

ノーマイカーデー

- ・通勤手段の変更（マイカー利用の自粛）
- ・自動車利用者の多様な代替手段意向へ対応（参加者数の増）
- ・「エコ交通の日（ノーマイカーデー）」の拡充
 - 第4金曜日H15から実施

時差出勤（早起き時差通勤）

- ・「ノーマイカーデー」に参加できない通勤者への対応
- ・勤務体系を変更せずに実施可能
- ・「早出出勤（渋滞が始まる前に出勤）」により効果が期待できる

直通バスの活用（秋田駅を経由しない路線バス）

- ・ノーマイカーデーの施策として実施
- ・渋滞が著しい古川添交差点（茨島）等の対策として検討
- ・住民アンケートで要望が多い（31%）
- ・自転車の活用も含め検討

自転車利用の促進

- ・中心地域やその周辺で利用推進
- ・自転車通勤等の奨励

3. TDM施策の方向性

【社会実験実施日の検討(既存施策等)】

○エコ交通の日(ノーマイカーデー)

- ・「美の国あきた エコ交通推進協議会」平成15年度～
→ 県トラック協会、県バス協会、県商工会議所連合会、県警本部、秋田県、秋田市 等
- ・毎月 第4金曜日 に実施

○ノーマイカーデー

- ・公務員(秋田県、秋田市、国土交通省 等)
- ・毎週 水曜日 に実施

○エコ通勤ウィーク

- ・秋田市役所 平成20年度～
- ・毎月 第3週目の平日 に実施
- ・マイカーから自転車や徒歩等への切り替え

○自転車通勤応援イベント

- ・NPO法人 バイシクル・エコロジー・ジャパン
→ 秋田市も協賛
- ・毎月 第3木曜日 に実施
- ・自転車通勤者へ飲み物やお菓子を提供

10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					3	
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					